

寄稿 飯南町への想い

「飯南町に住んで」

飯南町奥畑 森本 哲也



この町に来て十回目、奥畑では一回目の冬を迎えています。最初は面食らった、雪の深さや氷点下の寒さにも、いい加減諦めと共に慣れてきたところ。大阪市内では考えられない夏の夜の涼しさ、新緑や紅葉の美しさ、満天の星のきらめきは、冬の厳しさを帳消しにして余りあるものです。私はトマトを作りたくてこの町に来たのですが、なかなか思い通りにはならず、こと仕事の面では、これからどうしたものかと思案に暮れる毎日です。

ただそれだけに、それ以外ではとても恵まれていることに気付かされるのです。空き家バンクで紹介していただいた広い家で暮らし、おいしいお米や野菜を当たり前のように食べ、地域やぶなの里にはたくさんの農業の先生がいて、地区の皆さんにはいろいろ助けていただいて、趣味の仲間がいて、お祭りでは笛を吹いています。これからも諦めず、トマトを作って生活することを目標として頑張っていきたいと思えます。それでも楽しく暮らしていけたらと思います。後から続く(続くであつたはず)の1ターンの人たちの良き前例になれたらとも思っています。そして、トマトのようこの地に深く根ざしていけたらと思うのです。

いまは野菜づくりの研究をしています▶

▼(有)ファーム木精でトマトを出荷しています(HPより)



今年の抱負

飯南町議会 副議長



難波 俊司

皆様 新年明けましておめでとう
ございます。

健やかに平成二十二年を迎えられ
ましたことを喜び申し上げます。

飯南町議会も昨年七月改選があり
ました。十二名の新しい構成で議会
運営を行っています。皆様の声を聞
かせていただき、議会活動をしてま
いりたいと思います、よろしくお願
い致します。

さて昨年、大雪の幹折れや水害な
ど近年例を見ないような災害が続い
て起きています。議会としてもしつ
かりした対応・対策を取ってまいり
ます。

近年 農林業においても明るい兆
しは見られませんが、しかし農林業は
基幹産業です。情勢は厳しくても、
中国山地のと真ん中、清らかな水、
澄みきった空気、この自然環境を十
分に生かし、米作りを中心とするも
のづくりを皆様とともに頑張り、農
林業を発展させたいと思います。

皆様の健康とご活躍を心よりお祈
り申し上げます。

編集後記

民主党を中心とした政権交代
によって、国政は土建保守から
国民生活保守へと劇的な変化を
もたらしていますが、地方自治
体もこの潮流に乗らざるをえな
い状況下にあります。

要するに、公共工事頼みによ
る資金の地域循環システムが失
われようとしている現在、どう
したら飯南町に夢と希望を描く
ことができるかが問われており、
まさに地方行政の正念場です。

古来より「まつりごと」の民に
優しいは乱の始まりなり」と言
いますので、ていの良い言葉の
羅列だけではなく、将来を見据
えた手堅い地域政策を打って行
かねばなりません。また、政治権
力の交代は混乱を伴いますが、
その先には明るい未来があるこ
とは歴史の教訓でもあり、それ
を見越した果敢な挑戦に総力を
結集する必要があります。

従って、地方議会も大きな転
換を余儀なくされております。
これまでの「首長提案を丸呑み
する追認機関」から、「議会が本
来持つ野党的機能」へと重心を
移して、皆様の福利向上に向け
全力を尽くして参りますので、
尚一層のご支援を賜りますよう、
よろしくお願ひ申し上げます。

議会広報編集委員会

石原敏郎